

2月 日本共産党県議団 県議会ニュース です

毛利栄子議員の2月県議会での質問と答弁の要旨を紹介し
ます。一般質問、答弁の全文はホームページの**議会の様子**から、
質問の動画は右のQRコードよりご覧いただけます。



＊ ＊知事の政治姿勢について＊ ＊

毛利 世界最大級の柏崎刈羽原発は制御棒の警報システムに不具合
があり、再稼働したが停止した。安全性が担保されない再稼働は容認
できない。飯山市、野沢温泉村、栄村は万一のことがあれば影響を受
けると懸念している。東電、国に再稼働中止を求めてほしい。

知事 慎重かつ安全第一に取り組んでいただきたい。立地自治体の判断を尊重し、再稼
働中止を求める考えはない。

＊ ＊多文化共生社会の推進について＊ ＊

毛利 県下の在留外国人は48288人で岡谷市や諏訪市の人口に匹敵する。高市総理
は不法滞在者ゼロ、税金や保険料を在留許可の審査対象に加えるなど外国人を管理の対
象にし、差別を強化しようとしている。知事会が行った「青森宣言」や多文化共生とも
逆行するが見解を問う。

知事 外国人政策は客観的なデータ、エビデンスに基づく冷静な議論が重要。外国人の
排除、社会の分断につながることは決してあってはならない。

県民文化部長 日本語教育支援と地域社会に円滑に溶けこんでいただくための環境づく
りを支援。実施中のアンケート結果を踏まえニーズに対応した施策を充実する。

＊ ＊高校における授業配信による遠隔教育について＊ ＊

毛利 遠隔教育を実証する学校や科目はどうなっているか。遠隔拠点から配信し、遠隔
授業を担当する教員の負担が重くなることが考えられるが勤務内容はどうか。

教育長 全日制の中山間地校4校、定時制3校の数学、英語、理科、情報の4教科6科
目を予定。一日2コマ程度の授業時間とし、それ以外は受信校の生徒の把握と教材研究
に充てる。

毛利 遠隔教育が高校の統廃合や教師の数の合理化の手段として使われ、教育の質の低
下を招くことになってはならないがどうか。

教育長 遠隔授業は履修の選択の幅を広げ、幅広い進
路選択の実現が目的であり、合理化を目的として活用
することは考えていない。

毛利 DX化が急速に進むなか、子ども達の視力の低
下、ネット依存などの不安も広がっている。授業内容
の定着はどうか、コミュニケーション能力の醸成はど
うかなど遠隔授業実証研究の検証を求める。

＊質問を終えて＊

福島第一原発事故から15
年。今だ収束しない中、あの
東電が刈羽原発再稼働する
ことに対し、中止を求めないと
のこと。県政にはダメなもの
はダメと言ってほしい。

